



収納家具・物品棚

■システム収納庫レイアウト制限

●中間置き

オフィス内で間仕切りとして(壁面以外)中間置きをする場合は、安全のため転倒防止策を施してください。(背合わせ・床固定・その他地震対策)転倒防止対策の一例を図9・10に示します。

移転や移設、扉部分交換時の施工は、販売店にご依頼ください。

高さ1500mm未満の場合、①背合わせ連結または②横連結での設置をしてください。(図9参照)

単体で設置する際はハイベース、通常のベース問わず③床固定を適切に行ってください。(図10参照)

1500mm以上の高さでの単体置きは危険ですでおやめ下さい。(図10参照)

高さ1500mm以上での設置は①背合わせ連結の上、②横連結を行ってください。(田の字での連結) (図9参照)

高さ1500mm以上の設置で、横連結が行えない場合は①背合わせでの連結の上、③床固定を適切に行ってください。(図9参照)

単体での中間置き

単体で中間置きされる場合は購入先にご相談の上、床固定金具(別売)を取り付けてください。

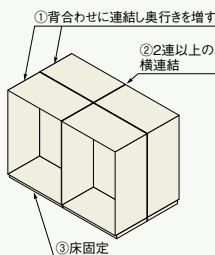


図9

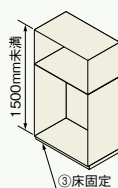


図10

●ハイベース

ハイベースでの単体置きは中間設置、壁付け問わず、必ず③壁または④床への固定を適切に行ってください。(図11参照)

ハイベースへの床固定はハイベース用床固定金具をご使用下さい。(図12参照)

中間置きでハイベースを使用される場合は、床固定金具の使用を推奨します。ハイベースにラテラルファイリングキャビネットは設置出来ません。

※ハイベース用床固定金具は、P.402に掲載しています。

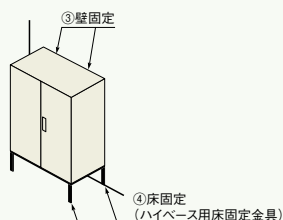


図11

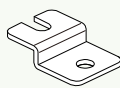


図12

●一覧

収納庫設置基準		H<1500	H≥1500
壁付け	通常ベース	○	○
	ハイベース	○ ※単体は床固定or壁固定必須	○ ※単体は床固定or壁固定必須
中間	通常ベース	○ ※単体は床固定必須	背合せ必須+追加対策(横連結or床固定)
	ハイベース	○ ※単体は床固定必須	背合せ必須+追加対策(横連結or床固定)

地震対策については別途対応が必要になります。
※判別式と合わせてご確認ください。

■収納家具引出しの開閉

●ボールスライドレールを使用した製品

引出しを開閉する際は、全開・全閉することを推奨いたします。連続して引出しを全開・全閉しないで使用された場合、レールの構造上引出しが全開しなくなることがあります。

上記の事象が発生した場合は、引出しを全開状態の位置までゆっくり引出してください。レールの動きが改善されます。

●横移動型家具の連結数の制限

横移動型家具により、使用者などが挟まれて「けが」をすることを防止するため、固定棚側は6連、移動側は5連を超える組合せはお受けできません。

壁面収納家具の転倒防止について

① 転倒防止対策のない壁面収納家具は、転倒による怪我の原因となります。必ず転倒防止対策を施した製品をご使用ください。

② 壁面収納家具を施工後に移設したい場合は、必ず設置施工のメーカー(とその販売店)にご相談ください。設置施工のメーカー(とその販売店)またはその指定業者以外の者が、移設施工した場合は、その移設施工に起因する事故には一切の責任を負うことができません。

③ 壁面収納家具は大型で施工を伴う家具ですから、一般の置き家具とは構造・体積など大きく異なります。十分に「取扱説明書」の安全条項を確認厳守の程お願い申し上げます。

耐火金庫・防盜金庫

●耐火金庫・防盜金庫の詳細については、P.448をお読みください。

ダイヤル錠保管庫

●ダイヤル錠の暗証番号が判らなくなった場合はご購入先の営業担当または販売店にご相談ください。お客様(管理者様)が暗証番号を検索・解錠できる非常解錠キーをご用意(有償)いたします。ダイヤルキーの錠前は簡易施錠につき、収納品の盗難については一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

ICカード錠保管庫 (Activelock ICライト、Activelock ICログ)

●鍵として登録しているICカードを紛失などされた場合はご購入先の営業担当または販売店にご相談ください。お客様(管理者様)が解錠できる非常解錠キーをご用意(有償)いたします。ICカード錠の錠前は簡易施錠につき、収納品の盗難については一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

収納部などの施錠

●書庫、ロッカーなどに装備されている錠前は簡易錠前です。

工具などによる破壊には耐えられず、また耐火性能も有しておりません。重要なものの保管には、防盜金庫、耐火金庫をご採用ください。

●扉や引出しをきちんと閉めた状態で施錠してください。

施錠できなかったり、故障の原因になります。

●施錠されている状態で無理な力をかけて開けようとしないでください。

施錠部などの故障の原因になります。

●予備のキーは、必ず別の場所に保管し、紛失しないようにしてください。

●キーを紛失した場合には、ご購入先の営業担当または販売店にご相談ください。有償にて合鍵をご用意いたします。